安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	08-0215-7	**版**	19.00
発行日	2025/02/25	**前発行日**	2022/03/22

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ Scotch-Weld™ Structural Adhesive EW2030

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電子用製品技術部
電話番号	042-779-2179

2. 危険有害性の要約

GHS分類
自己発熱性化学品： 区分２
皮膚腐食性/刺激性： 区分２
皮膚感作性： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分１
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分１

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
炎　感嘆符　環境

ピクトグラム

危険有害性情報

H252	大量の場合，自己発熱：火災のおそれ
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P235	涼しいところに置くこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P410	日光から遮断すること。
P413	1kg以上の大量品は、
P413A	5℃以下の温度で保管すること。
P420A	他の物質から離して保管すること。
P407A	隙間を開けて保管する。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	35 - 45
溶融シリカ	60676-86-0	30 - 40
エポキシ系希釈剤	営業秘密	< 10

補強剤	営業秘密	< 10
ジシアンジアミド	461-58-5	< 5.0
エポキシ樹脂	営業秘密	< 5.0
シリカ	営業秘密	< 3.0
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	150-68-5	2.3

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
塩素	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
塩化水素	燃焼中
シアン化水素	燃焼中

刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中
アンモニア	燃焼中
窒素酸化物	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管
涼しいところに置き、日光から遮断すること。 熱から離して保管する。 5℃以下の温度で保管すること。 1kg以上の大量品は、 積荷／パレット間に隙間をあけること。 酸から離して保管する。 強塩基から離して保管する。酸化剤から離して保管する。 他の物質から離して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	150-68-5	事業者の判断	TWA(吸引性エアロゾル)(8時間):1 mg/m3	
不活性あるいは有害なダスト	60676-86-0	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉱物性粉塵	60676-86-0	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入粒子	60676-86-0	ACGIH	TWA（吸入粒子）:10 mg/m3	
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,吸入性粒子	60676-86-0	ACGIH	TWA（吸入性粒子）:3 mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
加熱する場合は適切な局所排気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露に対して換気が不十分であれば、呼吸器保護具を着用する。
ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	灰色
臭い	エポキシ
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	*適用しない*
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*適用しない*
引火点	*データはない。*
蒸発速度	*適用しない*
引火性	自己発熱性化学品： 区分２
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	*適用しない*
相対蒸気密度	*適用しない*
密度	*データはない。*
比重	1.38 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	微量（<10%）
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	21,739 mm2/sec
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	0 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有する。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
危険な重合が起こることがある。

避けるべき条件
熱。
大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、５０ｇ以上のレジンを一度に硬化させないこと。
高せん断・高温時
火花及び／ないし炎

混触危険物質
強酸
強塩基
強酸化性物質

火花及び／ないし炎

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激：　咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合
皮膚刺激：　発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作

性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
溶融シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
溶融シリカ	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
溶融シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
エポキシ系希釈剤	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
エポキシ系希釈剤	経口摂取	ラット	LD50　3,741 mg/kg
ジシアンジアミド	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
エポキシ樹脂	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
エポキシ樹脂	皮膚	類似健康有害性	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,500 mg/kg
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	経口摂取	ラット	LD50　1,480 mg/kg
シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シリカ	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	ウサギ	刺激物
溶融シリカ	ウサギ	刺激性なし
エポキシ系希釈剤	ウサギ	刺激物
ジシアンジアミド	ヒト及び動物	ごく僅かな刺激臭
エポキシ樹脂	In vitro data	刺激性なし
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	類似化合物	軽度の刺激
シリカ	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	ウサギ	刺激性なし
溶融シリカ	ウサギ	刺激性なし
エポキシ系希釈剤	ウサギ	激しい刺激
ジシアンジアミド	専門家による判断	軽度の刺激
エポキシ樹脂	In vitro data	刺激性なし
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	類似化合物	中程度の刺激
シリカ	ウサギ	刺激性なし

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	多種類の動物種	感作性あり
溶融シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
エポキシ系希釈剤	多種類の動物種	感作性あり
ジシアンジアミド	モルモット	区分に該当しない。
エポキシ樹脂	マウス	感作性あり
シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	In vivo	変異原性なし
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
溶融シリカ	In vitro	変異原性なし
ジシアンジアミド	In vitro	変異原性なし
エポキシ樹脂	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
シリカ	In vitro	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
溶融シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジシアンジアミド	経口摂取	ラット	発がん性なし
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
溶融シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
溶融シリカ	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
溶融シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
ジシアンジアミド	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ジシアンジアミド	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	44 日
ジシアンジアミド	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	LOAEL 215 mg/kg/日	妊娠期間中
シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似化合物	NOAEL 入手できない	
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	経口摂取	メトヘモグロビン血症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 入手できない	適用しない。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	経口摂取	心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 250 mg/kg/day	13 週
溶融シリカ	吸入した場合	呼吸器系 | 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ジシアンジアミド	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6,822 mg/kg/day	13 週

３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	LOAEL 800 mg/kg/day	103 週
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 65 mg/kg/day	103 週
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 520 mg/kg/day	13 週
シリカ	吸入した場合	呼吸器系 ｜ 珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分１：水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分１：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>1.8 mg/l
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	0.55 mg/l
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.6 mg/l
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	0.3 mg/l
ビスフェノー	9003-36-5	液状化	類似コンパウ	3 時間	IC50	>100 mg/l

ルＦ型エポキシ樹脂			ンド			
溶融シリカ	60676-86-0	鯉	実験	72 時間	LC50	>10,000 mg/l
エポキシ系希釈剤	営業秘密	液状化	実験	3 時間	IC50	>100 mg/l
エポキシ系希釈剤	営業秘密	ニジマス	実験	96 時間	LC50	30 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3,177 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	310 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	25 mg/l
ジシアンジアミド	461-58-5	シマミミズ	実験	14 日	LC50	>3,200 mg/kg（乾燥重量）
エポキシ樹脂	営業秘密	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	6.28 mg/l
エポキシ樹脂	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>1.11 mg/l
エポキシ樹脂	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.051 mg/l
シリカ	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	150-68-5	藻類または他の水生植物	実験	24 時間	EC50	0.079 mg/l
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	150-68-5	魚	実験	96 時間	LC50	3.3 mg/l
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	150-68-5	ミジンコ	実験	26 時間	EC50	106 mg/l
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	150-68-5	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	0.01 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	EC C.4.E クローズドボトル法
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	類似コンパウンド 加水分解		加水分解性半減期（pH7）	86 時間（t 1/2）	OECD 111 pHに応じた加水分解
溶融シリカ	60676-86-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エポキシ系希釈剤	営業秘密	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	47 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
エポキシ系希釈剤	営業秘密	推定値 加水分解		加水分解性半減期	6.87 日（t 1/2）	
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	28 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	0 DOC除去%	OECD 301E - 修正OECDスクリーニング試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 水生固有生分解性	14 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	0 DOC除去%	OECD 302B Zahn-Wellens/EVPA試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生分解性	61 日	二酸化炭素の発生	1.1 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 309 好気的表層水生分解性シミュレーション試験
エポキシ樹脂	営業秘密	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301F
シリカ	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	150-68-5	モデル 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	2.1 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
ビスフェノールＦ型エポキシ樹脂	9003-36-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	≤3.6	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
溶融シリカ	60676-86-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エポキシ系希釈剤	営業秘密	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	2.9	
ジシアンジア	461-58-5	実験 BCF -	42 日	生物濃縮係数	<=3.1	OECD305-生体濃縮度

ミド		魚				試験
ジシアンジアミド	461-58-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	-0.52	OECD107　log Kow フラスコ振騰法
エポキシ樹脂	営業秘密	推定値 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	<42	OECD305-生体濃縮度試験
シリカ	営業秘密	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	150-68-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	1.94	Catalogic™

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名：　３０８８　自己発熱性物質（有機物）（固体）

輸送分類（IMO）：4.2　自然発火性物質

輸送分類（IATA）：4.2　自然発火性物質

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報
各国の化学物質登録状況によっては、輸出できない場合があります。輸出の際は担当事業部にお問い合わせください。　取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；本SDSのGHS分類により適用
労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達　基発第３１２号の３の別添１「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
地方労働局長宛て通達　エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について　昭和57年6月8日基発第339号
海洋汚染防止法：環境有害物質
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
消防法：指定可燃物（合成樹脂類、その他のもの）
船舶安全法、航空法：自己発熱性物質
本製品に含まれるシリカは安衛法の結晶質シリカ、非晶質シリカに該当しない。

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
３－（ｐ－クロロフェニル）－１，１－ジメチル尿素	3-(4-クロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素	適用しない	適用しない	該当

16. その他の情報

改訂情報
セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション１：製品名 情報修正.
セクション１：製品用途 情報の追加.
セクション２：注意書き - 保管 情報修正.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション４：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正.
セクション５：燃焼時有害性の表 情報修正.
セクション６：事故漏出時の清掃 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション８：眼および顔面保護 情報の削除.
セクション８：mg/m3 記号 情報の追加.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション８：OEL登録機関の説明 情報修正.
セクション８：保護具 - 眼 情報修正.
セクション８：ppm 記号 情報の追加.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
セクション９：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
セクション９：蒸発速度情報 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：pH情報 情報修正.

セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：蒸気圧 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１０：避けるべき条件 情報修正.
セクション１０：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：発がん性の表 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：生殖毒性の表 情報修正.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１４：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報の追加.
セクション１５：法規名 - 表 情報の削除.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。